

## 障がいのある人も暮らしやすいまちづくり

- 進行の仕方について、参考にしてください。時間は60分～90分の目安です。
- 参加者が多い場合は、グループに分かれて懇談をするなど、多くの方が発言できる機会を作るよう工夫してください。

### 【グループ形式で話し合いを進める場合】

- 少人数（4～5人）で話し合いができるよう、最初からグループになって座りましょう。
- 考えた意見（アドバイス）を付箋に書き模造紙などに貼り、意見交換し、意見（アドバイス）をまとめるのもよいでしょう。

教材ページ	時間	進行の仕方
1ページ	10分 (10分)	1 開会・あいさつ・自己紹介  2 人権・同和教育部落懇談会のテーマ・目的の確認 ☆人権・同和教育部落懇談会は旧東伯町が昭和48年（1973年）、旧赤碕町が昭和49年（1974年）から取り組みが始まり、部落問題を通し、生活の中での不合理、因習、迷信など様々な偏見や差別に気づき、幅広く様々な人権について考えられるようになりました。一人ひとりが人権を正しく理解し、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消と人権尊重のまちづくりを推進するために人権・同和教育部落懇談会が開催されています。 3 今年度の学習のテーマ・目的の確認  4 話し合いのルールの確認 ・参加— 積極的に参加しましょう。ただ、言いたくないときは「パス」と言って断わることが出来ます。 ・尊重— 一人ひとりを尊重しましょう。意見に「正解」はありません。様々な意見が出てくるとは思いますが、相手の意見を否定することなく、お互いの考えを尊重し合しましょう。 ・守秘— 参加者の個人的な経験談はこの場において帰りましょう。学習を深めるために出された意見ですので、発言者の了解なしに外に持ち出さないようにしましょう。
2ページ	5分 (15分)	<アドバイザーになってみよう> ・様々なお悩みを持った相談者の方がおられます。 相談者のアドバイザーになり、相談者の気持ちに寄り添い、自分自身の問題として捉えながら、障がいのある人も障がいのない人も安心して共に生きるということを、みなさんと一緒に考えてみましょう。 ・①～③までの事例をみなさんと読み合しましょう。
2ページ	10分 (25分)	話し合ってみましょう 1 ・どのお悩みの、アドバイスをしていくのか話し合ってみましょう。 ・一人ひとりが考え、全員の意見を聞いてから1つ選びましょう。

2 ページ	10 分 (35 分)	<p>話し合ってみましょう 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者の悩みや願いはどんなことなのか考えて話し合いをしましょう。</li> </ul> <p>例 1) 考える時間を設ける⇒考えた意見を伝え合う 例 2) 付箋に悩みや願いを書く⇒付箋を貼りながら自分の意見を伝える (同じ意見は付箋を重ねて貼る)</p> <p>(各部落にあった形式で話し合いを進めてください)</p>
2 ページ	10 分 (45 分)	<p>話し合ってみましょう 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでアドバイスを考え話し合いましょう。</li> </ul> <p>&lt;考え方のヒント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの人が出来ることはどんなことがあるでしょうか？</li> <li>・地域や関係機関で出来ることについても考えてみましょう。</li> </ul> <p>例 1) 考える時間を設ける⇒考えた意見を伝え合う 例 2) 付箋にアドバイスを書く⇒付箋を貼りながら自分の意見を伝える (同じ意見は付箋を重ねて貼る)</p> <p>☆様々な意見が出ると思われるので、発表者の意見を肯定的に尊重し、コメントしていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイスをまとめグループ内で確認し合いましょう。</li> </ul> <p>(時間があれば他のお悩み事例について話し合ってみてください。)</p> <p>(各部落にあった形式で話し合いを進めてください)</p>
2 ページ	10 分 (55 分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで話し合った内容を発表し合いましょう。</li> </ul> <p>(時間にあわせて発表するグループ数を決める)</p>
2 ページ	アドバイス 例	<p>&lt;お悩み①アドバイス例&gt;車いす使用者 話し合ってみよう 2 (相談者の悩みや願い)</p> <p>○願い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな人とかかわりたい</li> </ul> <p>○悩み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートフル駐車場 (障がい者等用駐車場) に車が止められない</li> <li>・Aさんへの対応に困っている</li> </ul> <p>話し合ってみよう 3 (アドバイス・周りの人や、地域・関係機関で出来ること)</p> <p>○アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の方に相談し、対応を一緒に考えてもらう</li> <li>・自分の思いを直接伝えられるような人間関係を平素から作るように努める</li> </ul> <p>○周りの人が出来ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者の話を聞き気持ちを受け止める</li> <li>・周りの人が相談者の気持ちを代わりに伝える</li> <li>・地域の集まりでハートフル駐車場利用証制度について周知する</li> <li>・地域の集まりで車いす体験をしてみる</li> </ul> <p>&lt;お悩み②アドバイス例&gt;肢体不自由 話し合ってみよう 2 (相談者の悩みや願い)</p> <p>○願い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同情されたくない</li> </ul>

2 ページ	アドバイス 例	<p>○悩み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的に同情されるのがつらい</li> <li>・自分の気持ちを相手に伝えることが出来ない</li> </ul> <p>話し合ってみよう3 (アドバイス・周りの人や、地域・関係機関で出来ること)</p> <p>○アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で悩まずに、心安い家族や知人に相談してみる</li> <li>・相談した、家族や知人に代わりに自分の思いを伝えてもらう</li> <li>・自分の思いを伝えられるような関係づくりを心がける</li> </ul> <p>○周りの人が出来ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者の話を聞き、気持ちを受け止める</li> <li>・地域で開催される研修会などに誘い合っ一緒に参加していく</li> </ul> <p>&lt;お悩み③アドバイス例&gt;LD (学習障がい)</p> <p>話し合ってみよう2 (相談者の悩みや願い)</p> <p>○願い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを分かってもらいたい</li> </ul> <p>○悩み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を聞きながら書くことが苦手</li> <li>・苦手なことが周りの人に理解してもらえず悩んでいる</li> </ul> <p>話し合ってみよう3 (アドバイス・周りの人や、地域・関係機関で出来ること)</p> <p>○アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談できる仲間や人を見つける</li> <li>・苦手を補うツールを使う (ボイスレコーダー等)</li> <li>・専門機関に相談する 「エール」発達障がい者支援センター</li> </ul> <p>○周りの人が出来ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者の話を聞く</li> <li>・気持ちに寄り添う</li> <li>・頭ごなしに否定せずに、思いや理由を聞く</li> <li>・得意な所を見つけ自信につながるような声かけをする</li> <li>・一緒に対処方法を考える</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>読み書き障がいがある有名人 ハリウッド俳優のトム・クルーズ 彼の場合は行を読み飛ばしたり、台本を読むのがつらく、今でも台詞はすべてテープに録音してもらい覚えているそうです。</p> </div>
4 ページ	5 分 (60 分)	<p><b>障害者差別解消法の資料を読む</b></p> <p>&lt;資料のまとめ&gt;</p> <p>障害者差別解消法の合理的配慮は「障がいのある人を特別扱いしましょう」というものではありません。</p> <p>無理のない範囲で調整を行うことが合理的配慮と呼ばれるものです。障がいのある人が誰かに助けてもらわないと生活できない社会ではなく自分の力で生活できるような環境づくりや配慮をしていくことが大事ということが考えられます。</p>

別添資料	5分 (65分)	<p><b>あいサポート運動</b></p> <p>あいサポート運動とは、誰もが様々な障がいの特性、障がいのある人が困っていること、障がいのある人への必要な配慮などを理解して、障がいのある人に対してちょっとした手助けや配慮などを実践することで、障がいのある人が暮らしやすい社会をみなさんと一緒につくっていくことを目的とした運動で、平成21年11月に鳥取県で始まりました。</p> <p>あいサポート運動リーフレットには、様々な障がいや病気が紹介されています。QRコードを使い動画を見ることも出来ますので、ぜひ検索してみてください。</p>
別添資料	5分 (70分)	<p><b>&lt;まとめ&gt;</b></p> <p>障がいには様々な種別がありますが、活動やふれあいをつうじて「ちがい」をいかしたり、「ちがい」を認め合って共に生きていくことが大切です。しかし、日常生活では、とにかく自分を第一に考えがちです。相手の気持ち思いを優先して考えることは、けっしてたやすいことでないことも確かです。</p> <p>難しいことをしなくてもまずは「障がいについて知る」「相手を知る」ことで偏見や差別を減らすことができます。</p> <p>日常生活で障がいのある人に「差別だ」と感じさせてしまうことは、障がいについて少し知るだけでも回避できることも多いです。障がいのある人の差別をなくす上で何よりも大切なのは「障がいを知る」ということです。このことは「相手を知る」「知ろうとする」ということからいろいろな偏見や差別の解消にも繋がるのではないのでしょうか。人は知らないから怖がったり避けたりします。知っていれば「なあんだ」で終わることも多いはずです。</p> <p>今日の活動では自分たちで話し合う内容を選び話し合いを進めてきました。この話し合っただけという事で周りの人の意見を受け入れ自分の気持ちを伝えたり、相談者に寄り添った体験も出来たのではないのでしょうか。</p> <p>そして、障がいのある人の人権について考えていくことで、部落差別をはじめとするあらゆる差別や様々な人権についても考える機会になったと思います。</p> <p><b>「部落差別の解消の推進に関する法律について」のチラシ説明</b></p> <p>昨年もお知らせいたしましたが、平成28年12月9日に部落差別解消法が成立し、同月16日に公布・施行されました。</p> <p>お配りしてあるチラシに、「部落差別の解消の推進に関する法律」の内容が記載してあります。</p> <p>今後も、この法律に基づいて人権・同和教育研修会、講演会等でお知らせしていくと共に部落差別解消に向けた取り組みを推進していきます。</p> <p>すでにこの法律についてご存知の方も多いかとは思いますが、再度ご確認ください。</p> <p>皆さんには、障がいのある人の人権について話し合っただけではありません。障がいのある人も暮らしやすいまちを誰もが暮らしやすいまちです。</p> <p>一人ひとりが尊重され、心豊かにつながりあうまちづくりをめざして暮らしやすい地域づくりを進めていきましょう。</p>
	5分～ 10分 (80分)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 閉会あいさつをする</li> <li>2 アンケートの記入</li> </ol>